

合格者のみなさま

ー入学準備にあたってー
パソコン準備のお願いについて

名古屋大学法科大学院 学務委員会

名古屋大学法科大学院の教育の特色の1つに、「ITを活用した新しい教育手法の導入」があります。例えば、シラバスはWebページで公開され、一部の科目については、e-learning用のWebソフトウェアとして独自に開発された新しい教育ソフトウェア・ツール群を利用します。また授業外でも、レポートの作成、教材のダウンロード、法律情報データベースのインターネット上での利用などで、パソコンが必要となります。

さらに、令和8年試験から、司法試験・予備試験にパソコンを使用した試験実施形式（CBT: Computer Based Testing）を導入することが目指されています（法務省ウェブサイト https://www.moj.go.jp/jinji/shihoushiken/jinji08_00238.html を参照してください）。

このように、名古屋大学法科大学院では、パソコンを携帯して利用することが必須となりますので、学生の皆様には来年3月末日までに、パソコンの準備をお願いしております。下記「法科大学院で利用するパソコンの仕様」に合ったパソコンを既にお持ちでしたら、新しく購入する必要はありません。

入学後授業開始前に名古屋大学無線LANの接続方法、教育ツールの使い方、E-mailの設定方法などのガイドンを行います。それまでにホームページ検索ができる程度のパソコン利用スキルを身に付けておいてください。

記

法科大学院で利用するパソコンの仕様

- (1) 推奨 OS Windows11（Mac OS は推奨しません。裏面も参照してください）

※サポート終了の OS は利用不可。

司法試験等の CBT（Computer Based Testing）方式では、Windows11 を搭載したデスクトップパソコンが試験会場（CBT テストセンター）で用意される予定。

- (2) CPU：1.5 GHz 以上のマルチコアプロセッサ
(3) メモリ：8GB 以上
(4) ネットワークインターフェース：IEEE802.11ac 対応
(5) 図のような USB Type-A が付いていること（自習室の複合機から印刷するとき必要です）



- (6) 日々の持ち運びに耐える耐久性と軽さ（ノートパソコンがお勧めです）
(7) TKC 法科大学院教育研究支援システム推奨ブラウザ Microsoft Edge、Google Chrome の最新バージョンがストレスなく動くこと

※上記の条件を満たす機種であればどこで購入していただいても構いません。仕様を満たすパソコンを名古屋大学内生協でも販売しておりますので、生協にご相談いただくことも可能です。

パソコン利用についての注意事項 裏面に続く

パソコン利用についての注意事項

●Mac OS について

ファイルの交換をはじめとする諸々のトラブルを独力で解決できる、パワーユーザでない限りおすすめできません。また、設置されているプリンタはMacOSに対応していません。

なお、司法試験等のCBT (Computer Based Testing) 方式ではWindows11が指定されており、法務省から提供されている練習用ソフトウェアもWindows版のみが提供されています。さらに、業者による司法試験模試によっては、Windowsを搭載したパソコンを自分で用意することが必要とされる場合があります。

●Microsoft365 デスクトップアプリについて

名古屋大学に入学されますとMicrosoft365 デスクトップアプリを個人で所有する端末へインストールし、学習、研究、課外活動等のために利用することができます。詳しい利用方法は入学時のガイダンスでご説明いたします。

●機器、ソフトウェア、ファイルのトラブルの診断と修理はパソコン所有者で行うことになります。マニュアルやパソコン雑誌の「トラブルシューティング」集を熟読したり、パソコン関係のWeb ページで提供されている情報に注意するなどしてください。

以 上